

## JACET 関西支部・第7次プロジェクト

## 「学習英文法」研究会 (Pedagogical English Grammar Workshop)

代表 松浦 勉 (大阪青山短期大学)

本研究会では、①近年の英語学・言語学研究によりどのような知見が得られたか、②それをどのようにして学習英文法に取り入れるか、の2点を目標に研究活動をしてきました。会の運営は、会員と会に関心をお持ちの方々を中心に、生成文法、認知言語学、談話文法、機能、語用論、コーパス言語学などの領域における研究成果の一端をご紹介いただき、それをもとにして全員でディスカッションするという方式で行って来ました。また、皆様のお陰を持ちまして、第1言語習得や第2言語習得に関する研究にもアンテナを向けながら、学習文法論や英語教育の関連分野の研究からも有益な示唆を得ることができました。

第7次のプロジェクト発足以来、本研究会の活動は月例会形式をとり毎回2名のご発表をお願いしました。ご発表時間は1人60分、質疑応答に15分をとることにより、発表内容から十分な知見を得ることが出来ました。2001年度(2001.7~2002.3)は、通算9回の月例会を行い、16名の研究発表をいただきました。その成果は2002年の大会において研究集録として配布いたしました。今回、この紀要に掲載しておりますのは、2002年度(2002.4~2003.3)の月例会において発表いただいた研究会会員7人の概要です。また、2002年度の月例会記録(下記)をご紹介することにより、ご発表いただきました皆様方の研究活動を1人でも多くの方々に知っていただき、今後の研究会の活性化につながることを願っております。

2003年4月からこの研究会は新体制下で引き続き研究活動を行いますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

## 4月例会

発表者①：成田 一 「機械翻訳の学力は学生を超えた！」

発表者②：境 倫代 「One's Way 構文の意味的・統語的考察」

## 5月例会(5月18日)

発表者①：沖田知子 「英語進行形について」

発表者②：藪内 智 「文法指導再考」

## 6月例会(6月15日)

発表者①：橋本雅文 「学習者の視点から文法指導を再考する」

発表者②：石崎保明 「移動表現にあらわれる副詞的名詞類について」

7月例会（7月13日）

発表者①：日比野日出雄 「私のBNC Simple Search活用法」

発表者②：岡田伸夫 「受動文の変種をめぐって」

8月例会（8月24日）

発表者①：松浦 勉 「語順と意味：情報構造の視点から」

発表者②：長谷川存古 「〈行為解説〉の進行形」

9月例会（9月28日）

発表者：八木克正 「21世紀にふさわしい英和辞典と学習英文法  
のために」

10月例会 ☆都合により中止

11月例会（11月24日）

発表者①：神崎高明 「等位構文と逆行照応」

発表者②：鈴木三千代 「before 節の過去完了形」

12月例会（12月22日）

発表者①：仁科恭徳 「結果構文におけるsubevent分析」

発表者②：西村公正 「学習英文法における用語の整理と拡充  
—slow learnersとその語学教師の立場から—」

2003年

1月例会（1月25日）

発表者①：小野隆啓 「Syntax-Semantics Interface」

発表者②：宮本陽一 「On Scope」

2月例会（2月22日）

発表者①：小池 有公 「On the Distribution of *Me* and *Myself*  
in English Revisited」

発表者②：石川保茂 「日英談話データ処理 音声分析を中心に」

3月例会（3月29日予定）

発表者①：松井千枝

発表者②：市吉輝幸

（敬称略）